



# 带状疱疹のワクチンについて

## 带状疱疹（たいじょうほうしん）とは

水疱を伴う赤い発疹が体の左右どちらかに、帯状に出現する皮膚の病気です。強い痛みやかゆみを伴うことが多く、皮疹が収まるのには2～3週間かかります。

50歳以上で带状疱疹になった約2割の方には、皮膚症状が治った後も痛みが続くことがあり、带状疱疹後神経痛と呼ばれています。日本国内で年間約60万人の方がかかる日常よくある病気の一つで、80歳までに3人に1人がかかると推測されています。

原因は子供のころにかかる水ぼうそうのウイルスが原因です。水ぼうそうが治った後もこのウイルスはなくなり、体の中の神経節というところに長期間潜伏します。加齢や疲労、ストレスなどによる免疫力の低下が引き金となり、ウイルスが活動し始め今度は水ぼうそうではなく带状疱疹を引き起こします。

近年、50歳以上で带状疱疹にかかる方が増加してきているため、带状疱疹のワクチン接種が勧められています。带状疱疹のワクチンには2種類のワクチンがあります。効果や接種対象、接種回数、費用などに違いがあります。

### ◆1回接種の带状疱疹ワクチン（弱毒生水痘ワクチン 商品名「ビケン」）

弱毒化された水痘ウイルスが含まれており、小児に使用する水痘ワクチンと同じワクチンです。2016年から50歳以上の成人に対して带状疱疹ワクチンとして認可されています。

1回の接種で済みますが、有効性は50%で、5年を超えると効果が低下します。

また、生ワクチンのため免疫抑制状態の方など接種できない方がいます。

**接種費用は8,800円（税込）です。**

### ◆2回接種の带状疱疹ワクチン（サブユニットワクチン 商品名「シングリックス」）

2020年に認可された水痘ウイルスの感染性を持たないワクチンです。

2か月間隔で2回接種が必要ですが、予防効果は90%と高く、効果の持続も10年以上はあることが確認されており、生ワクチンを接種できない免疫抑制状態の方でも接種可能です。弱毒生ワクチンに比べて注射部位の痛み・発赤・腫れや筋肉痛や全身倦怠感といった副反応が多いのですが、重篤なものはほとんどないため、欧米では広く高齢者用の带状疱疹ワクチンとして推奨されています。

**接種費用は1回22,000円（2回接種で44,000円）（税込）です。**

**带状疱疹ワクチンの接種を希望される方は、まずは医師にご相談ください。  
診察後ご予約を承ります。**